

金鈴塚

この金鈴塚は一、四〇〇年ほど前にこの地方の国造と思われる豪族を厚葬した大規模な前方後円墳で、原形は長さ九〇米の中五〇米から七〇米ぐらいあって、周囲に堀をめぐらしていたことが推定されております。

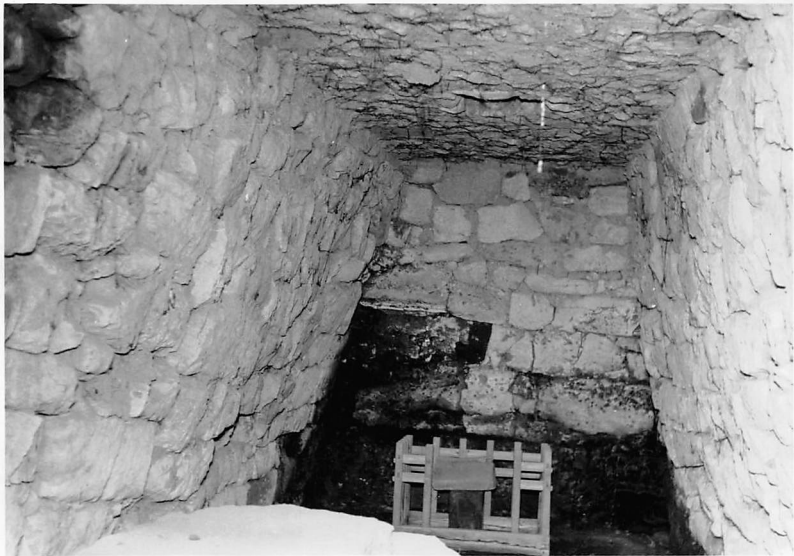
昭和二十五年の発掘調査によつて、服飾品、武器、馬具、祭器、土器など一千点をこえる上代の文化遺産を出土し、これらは一括して国の重要文化財と指定され、布衣、笠、中腹の金鈴塚遺物保存館に展示公開してあります。

この塚の石室内にある箱形石棺も、我國で初めて国の重要文化財に指定されました。













金 鈴 塚

本東津市とその周辺は、景下でも早くから文化の開けた地域ですが五世紀のことにはすぐれた中央(大和)の文化が急速に入り、古墳もあららちにつくられました。金鈴塚は、それらの古墳の中でも優秀なもので、つくられたときは、長さが二〇メートルもある前方後円墳(ぜんぽうこうえんぶん)でした。

長い間にその形がすっかりくずされてしまいましたので昭和二十五年四月と七月の二回にわたって、これを学問的に調査しました。ところが驚いたことには、十メートルほどの細長い石室があり、その中に石の棺が一つおかれ、棺の中、室の床にたくさんのお葬品(ぶくそうびん)がのこされていました。金・銀・青銅の品々が足をふみこむことのできないほどありました。ことに、五個の純金の小さな鈴は、かわいらしい実にめずらしくいものですから、この塚を金鈴塚と名づけました。

青銅のいれ物、金銅(こんどう)青銅の上に金を塗ったもの(の大刀(たち)や鞍(くら)やたくさんの鈴、それに飾り金具、銀の弓弭(ゆみ)など、どれ一つをとっても珍物品といえます。土器も三〇ほど出ました。この塚がつくられたころ(今から千四百年ほど前)日本に仏教が伝わってきました。そして金鈴塚ができてから百年ほどしてこの付近にも仏教が伝わってきました。大寺ができました。

金鈴塚の遺物の一つ一つは、このように貴重なものですが、これらの中には昔の中国や朝鮮からつたわってきた文化をあとづけることのできるものもたくさんあります。そのころの日本の工芸技術の高さを示す金細工などもあります。主な遺物は左のとおりです。

服飾品

金鈴五、勾玉一、丸玉三六、小玉五六、コウ玉三一、水晶切子玉一、

武器

金環(耳飾)六、鏡二、櫛二、金モール、金細工、裝飾若干

馬具

鉄鈴一、鉄鍬多数

雑器

鞍四、馬鐙六、杏葉八、雲珠一三、青銅鈴五四、飾金具多数

銅器五、金銅透金具二、釘若干、約三〇。





大 刀 の 種 類



環 頭



圭 頭



方 頭



円 頭



頭 椎



鳥 首



图 1241
新石器时代

图 1242
新石器时代

图 1243
新石器时代

图 1244
新石器时代



古墳時代の須恵器

坪



罎



子持壺



壺



埴



高 坏



子持高坏

家形土器



皮袋形土器



壺



角形土器



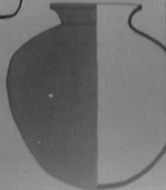
平瓶



器台



壺



提瓶



横壺





かみ)

承盤付鏡

青銅でつくられたもので皿と台と身と蓋(ふた)に分れて
きますが、日本では例の少ないものである



丸玉

丸玉

ガラス製、丸玉は、皇室の冠ひしに用いられ、神事にも使われます。ガラス製、丸玉は、皇室の冠ひしに用いられ、神事にも使われます。

勾玉 (まがたま)

めのも

山子玉 (やまこぎょ)

水晶

王類 (首かざり)

Beads

めのも、こはく、すいし、ガラス、などでつくられた首かざりの玉

首かざり

561つのガラス玉でつくった首かざり、青、黄、赤、藍(赤い)白といろいろの色があります

辻金具 (700000)

馬の蹄にす

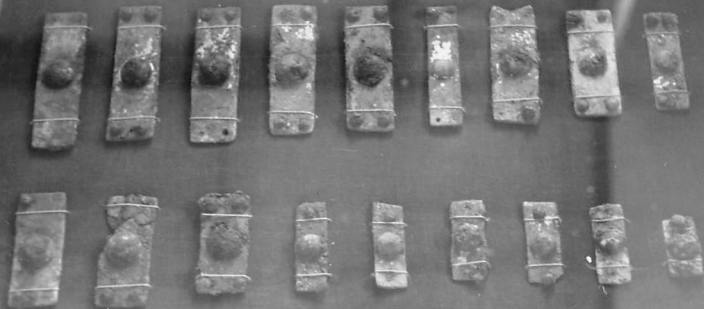


馬鐸 (はた)



契

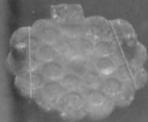
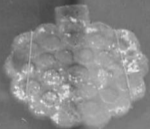
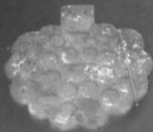
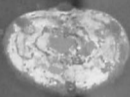
打てるいろいろの道具





鑄板 (かたむね)

政和の世(1131)に於ける(つむぎ)の鑄板の
品です









内裏塚

大正四年二月二十八日建之
舊飯野領土保科三貞十一代之後谷正昭書

朱文公觀

頃惠... 朱文公... 觀... 嘉... 年... 南...





古墳
九條塚

























